

100年以上の業歴がある金庫の老舗メーカー 新型の薬品保管庫の開発に着手

事業内容

金庫の専門メーカー 需要に合わせ保管庫の製造にも注力

1907年(明治40年)創業の金庫メーカーで、代表取締役社長の樋口隆夫氏が4代目にあたる。元は火災による紙幣や書類の焼失を防ぐ耐火金庫の製造販売を手掛けてきたが、安価な海外製品の流入もあり、製造を中止。現在は、金融機関や商業施設などに設置される貸金庫をはじめ、各種保管庫を主としている。

原材料(鉄・ステンレスなど)の仕入から钣金加工、仕上げに至るまで自社の生産ラインで一貫して行い、基本的に外注を利用しない。特注品の依頼が多い中、取引先のニーズを細かく反映できる一貫した製造体制が、同社の強みとなっている。

過去には全国に複数あった金庫メーカーは、金庫需要の減退とともに減り、今では金庫の専門メーカーはほとんどない状態で、需要は減少基調である。一方、企業統治や内部統制の観点から薬品や危険物を管理する保管庫の需要は増加傾向で、同社では特注品や薬品保管庫の製造に力を入れている。

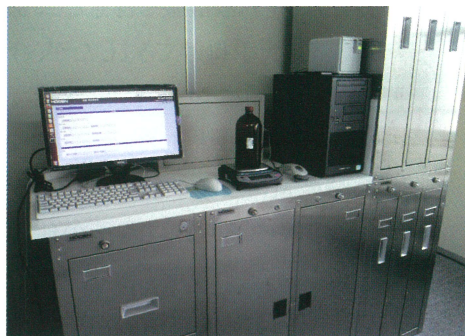
補助事業

エアロック式の薬品庫を開発 研究施設の市場獲得を目指す

開閉履歴管理ができる薬品保管庫はこれまでも要望があり、潜在的な市場ニーズがあった。従来の技術による他社製の薬品保管庫は、電気制御システムで遠隔操作などの錠に用いるモーターやソレノイド(コイル)、また接点部品や基板・リード線などを薬品庫内に配置する必要があった。しかし、その方法では薬品庫特有の庫内の蒸気雰囲気による腐食によって誤動作を起こすなどのトラブルが絶えず、ショートによる引火・爆発の危険性があり、保管する収納物に致命的な制限があった。

そこで、今回の補助事業では、電気で制御する領域とエアーで制御する領域を区別することで、薬品庫内に電気を使うことなく開閉履歴制御を可能とする「空圧式薬品保管庫」を用いた薬品管理システムの開発を行った。個人の認証方法は、パスワードやバイOMETRICS(指紋など)、非接触カードなどで対応し、薬品庫の鍵を持ち歩かなくてよいものとし、加えて、薬品の使用量を管理するシステムと連動させ、開閉履歴の時系列と薬品使用の一元管理も可能とした。帳票出力などの各種法令にも対応するシステムにし、また劇物・毒物の事故・事件の抑止に貢献できる製品に仕上げている。

薬品庫を複数台使用するような、多品種の試薬を保有する研究施設(企業・大学など)の市場獲得を目指す。



成果

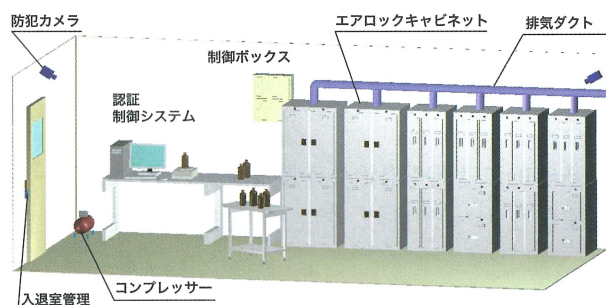
製品化にこぎ着ける
年内の販売成果に期待

薬品保管庫の製造を手掛けてきた他社の事例などを参考に進めたものの、開閉時に庫内で電気を使わない空圧式に仕上げるのに時間を要した。しかし、協力会社の技術提供も受け、空圧式薬品保管庫に連動できる制御ソフトの試作機を完成させることができた。

課題としては、顧客の要望に応えるためにどのようなカスタマイズを施すか、また耐久性の向上も挙げられる。

社外からの反応は、薬品の管理がより安全に、より厳格に行われるメリットがある一方で、業務が煩雑になることを懸念する声もある。内部統制の観点からは、電気を使用しないことで安全性が高まっていることに加え、耐震設計、免震構造でも評価を受けている。管理者の立場からは、法規制対応ができていくことへの評価も高い。顧客企業内で構築されている管理体制と開発製品を調和させていくことが、今後の普及のポイントとなりそうだ。

現在、既存得意先やその関係先に対してのデモも行っており、年内の販売成果を期待したいところである。



今後の展開

自社ブランド(HODEN)での販売
長年の業歴を活かした販売展開

同社の薬品庫製造はOEM生産がほとんどで、自社ブランドでの製作は非常に少ない。本事業で開発された「薬品管理エアロックキャビネットシステム」は、自社ブランド(HODEN)での販売を展開していき、既存ルートと共存するかたちで販売戦略を考えている。また、長年の業歴を活かし、理化学用品や研究設備業者などへの販売ルートだけではなく、セキュリティ関連企業や入退出管理などの企業との連携も視野に入れている。

海外展開に関しては、法規制が日本と異なるなど難しい面があり、耐震構造・免震機能の付加機能やシステム面でも日本国内に特化した仕様となっているため、まずは国内販売に注力していく意向だ。

エアロックキャビネットと薬品管理ソフトのコンビネーションを実現させた今回の開発は、機能面などで真新しい点が多く、徐々に業界内での知名度も上がっていくと思われる。充実した内容の製品に仕上がっているため、今後の販売にも熱が入りそうだ。

補助事業に後押しされ
長年の構想を実現!

代表取締役社長 樋口 隆夫

「開閉履歴の取れる薬品庫ないか?」こんなお問い合わせをよくいただいていた。

もともと伝導工具を扱う会社に勤めていたこともあり、エアー駆動での鍵の開閉方法は長年構想として持っていました。しかし、費用のことを考えると…、なかなか開発、試作に重い腰が上がらない。

そんな時に、今回の補助金事業を聞き、背中を後押しされたように、「とにかくやってみよう!」と。こうして試作・開発に着手し、試作機の開発に成功しました。

今後は価格面や販売ルートなど、いろいろと模索しながら、お客様に選んでいただける製品になればと考えています。

樋口金庫 株式会社

代表取締役社長 樋口 隆夫

大阪市東住吉区杭全1-12-1

TEL : 06-6714-5406

〈資本金〉24,000千円

〈従業員〉10人

<http://www.hoden.co.jp/>

